

関西天文ハイキング (12)

東経 135 度子午線上の標識

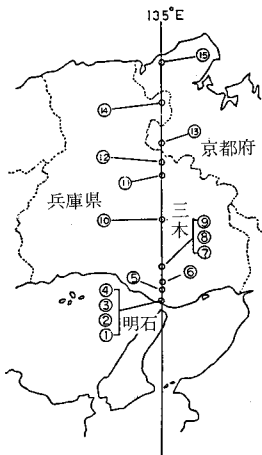
東経 135 度を日本標準時の子午線と定められたのは、明治 19 年 (1886) で、明治 21 年から実施された。この 135 度線が明石を通ることがわかったので、明石郡小学校長会によって、明石と平野に初めて標識が建てられたのは明治 43 年であった。今では図のように全部で 15 カ所に建てられていて、最も規模が大きいのが明石市立天文科学館で、教科書などで最もよく知られているのはトンボ標柱だろう。図の標識の所在地は次の通りである。

- ①明石市天文町 2 丁目 (明治 43 年)
- ②同天文町 1 丁目国道 2 号線沿い
- ③明石市立天文科学館 (昭和 35 年)
- ④人丸山トンボ標柱 (昭和 3 年, 同 30 年改設)
- ⑤神戸市西区平野町 (明治 43 年)
- ⑥同区神出中学校校庭
- ⑦三木市恵比須
- ⑧同三木小学校校庭
- ⑨同久留美
- ⑩西脇市比延日本へそ公園 (北緯 35 度)
- ⑪氷上郡氷上町
- ⑫同青垣町道路標識
- ⑬天田郡夜久野町国鉄下夜久野駅前
- ⑭出石郡但東町 (北緯 35.5 度)
- ⑮竹野郡網野町宮津線丹後木津駅東の線路沿い。

(明石市立天文科学館 河野健三)



明治 43 年の子午線標識①  
(明石市天文町 2 丁目)



◇ 12 月の天文暦 ◇

日時	記	事
5 18	下弦	
7 13	大雪	(太陽黄経 255°)
8 20	水星	留
10 17	天王星	合
11 10	月	最近
12 10	朔	
17 14	水星	西方最大離角
19 11	上弦	
22 7	冬至	(太陽黄経 270°)
23 16	月	最遠
25 14	海王星	合
27 17	望	

◇ 12 月の日月惑星運行図 ◇

